

# 震災を乗り越え持続可能な未来を創造する人材育成プログラム

## 研究開発の背景

### 研究仮説

学校と地域とが連携・協働する取組と学校内の取組とが全体として機能する体制を作り、カリキュラムを再構成することができれば、

- 高校卒業までに「地域への愛着、地域貢献意欲、自尊感情、自ら関わろうとする力、対話力・共感力・合意形成力」を身につけさせることができる。
- 具体的には、それぞれの力が身についたと考える生徒の割合が、  
1年目50% 2年目70% 3年目80% を超えることができる

### 弱み

#### 高校生の課題

- 自己肯定感の弱さ
- 失敗を回避する傾向
- 主体性の弱さ

#### 地域社会の課題

- 東日本大震災被災地  
人口流出 学力・体力低下  
コミュニティ崩壊

### 強み

#### 石巻地域高等教育事業団

- 石巻専修大学を中心に2市1町と  
圏域内県立学校で組織
- 地域課題等についての情報交換

#### SDGsの取組

- 東松島市：SDGs未来都市選定  
地域住民が社会課題を共有

## コンソーシアムの構成等研究開発の実施体制



## 成果と課題

### 高校魅力化評価システム結果

#### 他地域に比べ高い評価

- 話し合った内容をまとめる
- 自分で計画を立てて活動することができる

#### 他地域に比べ低い評価

- 地域の魅力や資源について考える
- 地域の人や課題などに直に触れる機会がある
- 私は自分自身に満足している

⇒ 事業開始前の先行的取組の乏しさが要因か

### 独自アンケート結果

向上が見られた項目：主体性 協働性 探究性 社会性

### 次年度以降の課題

- 生徒の地域活動の推進
- 地域人材の一層の活用
- 圏域内他校との連携
- 研修で得た知見の活用
- 学びの土壌の醸成を意識したプログラム設計

## 令和元年度の目標

### 育成したい地域人材

- ・ 地域改善の情熱・信念を有する人材
- ・ 役割を認識し課題に向き合う人材
- ・ 人々を巻き込み課題に取り組む人材

### 習得させたい資質・能力

- ・ 地域愛・地域貢献意欲
- ・ 自尊感情・自ら関わろうとする力
- ・ 対話力・共感力・合意形成力

これらの力が身に付いたと  
考える生徒：50%以上

## 主な取組状況

### 総合的な探究の時間

- 1学年 職業人インタビュー インターン
- 2学年 地域理解講座 課題解決学習
- 3学年 SDGs 地域課題研究

### 教科・科目

国語総合・現代社会・社会と情報  
地理探究・環境と科学（学校設定科目）

### 教育課程外の活動

地域支援・学習支援ボランティア  
課題研究フィールドワーク